



第3会場● 4F 視聴覚室

■司 会／桑原 秀明 熊本県教育庁教育総務局社会教育課 社会教育主事
峯 恭子 北九州市市民文化スポーツ局生涯学習課 前社会教育主事

分科会の進め方

10:45~10:50

1 今、求められる公民館活動～「サテライト菊池教室」からの学び～ 10:50~11:20

山本 美千代(熊本県菊池市) 菊池市中央公民館長

「サテライト教室」は県と市町村の共同事業。菊池市では、平成28年度に「健康都市宣言」を行い、「市民の健康づくり」に力を入れていることから、中央公民館と健康推進課との連携による講座を企画し実施。「人生100年時代を元気に生きる～健康寿命を延ばす3つの秘訣～」をテーマに「予防」「運動」「笑い」を取り入れ、マンネリ化防止のため参加型の仕組みを工夫。その結果、健康推進課だけでなく、農政課、菊池郡市医師会、スポーツ推進員、食生活改善推進員等とも連携することができ、次年度へ繋がる取組みとなつたばかりでなく、公民館職員にとっても大きな学びとなつた。

2 学校と連携・協働した公民館事業 11:25~11:55

花田 健司(福岡県福岡市) 東箱崎公民館 元館長

昭和62年に箱崎校区から分離独立した当時から現在も子育て世代が多く、九州大学の留学生をはじめ、多くの外国籍の方が居住する地域である。多民族・多文化との共生をテーマに開館当初から多種多様な事業を展開し、公民館を中心とした地域づくりが進められてきている。それらの事業の中で、昨年4年目を迎えた。韓国の中学校と地域の中学校との交換ホームステイ交流事業を中心に発表する。夏に韓国の中学生数名を受入れ、冬には地域の中学生が韓国へホームステイを行っている。学校関係者が公民館を通じて自治協議会や地域住民等、多くの人とつながることができる場になっている。

3 公民館活動における協働の仕組みづくり ～子どもを育てる公民館と学校の協働～ 12:00~12:30

赤峯 友子(大分県大分市) 大分市川添公民館 公民館主事

平成14年度の学校週5日制完全実施より協働の仕組みづくりを行い、以前から続けてきた子どもの健全育成事業や学校支援事業に力を入れてきた。公民館と地域が協働して地域の自然と人材を活用し、子どもたちの体験活動を行い、地域の教育力向上を図っている。また、5年前から月に2回程度、子どもたちが自主的に放課後公民館で仕事を手伝う「公民館お助けDAY」が定着してきた。公民館活動が、地域住民や子どもたちの交流の場になり、居場所づくりや生きかいづくりに繋がっている。